

結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和6年12月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

公民館活動に関する表彰

11月3日（日）木城町「生涯学習のつどい」で公民館活動に関する表彰「讃嘆式」を行いました。「讃嘆式」とは、武者小路実篤先生の「山と山とが讃嘆しあうように、星と星とが讃嘆しあうように、人間と人間とが讃嘆しあいたいものだ」という詩句にちなんで「大いに褒め称えよう」というものです。今年度は、7個人、4団体が受賞されました。

☆町長讃嘆：自治公民館長を5年以上務め、その功績が顕著である方々

黒木 泰三 様（櫛野） 一宮 福義 様（池田住宅）
河野 浩之 様（田畑） 黒木 康行 様（岩戸）

☆教育長讃嘆：運営及び活動が他の模範となる自治公民館

岩渕自治公民館（交流活動、防災減災活動）
石河内自治公民館（交流活動、読書活動）

☆自治公民館連絡協議会会長讃嘆

・自治公民館長の職を3年以上務め、その功績が顕著である方々

國岡 伸二 様（牧之内） 平野 大輔 様（中原）

・自治公民館組織の役員として5年以上務め、その功績が顕著である方

中田 幸夫 様（岩渕）

・永年にわたり、地域における環境美か、青少年育成奉仕活動に尽力している団体

中椎木自治公民館

（伝統活動による青少年の健全育成）

中川原自治公民館

（公民館を中心とした青少年の健全育成）

受賞おめでとうございます！



毎年引き継がれる伝統行事

10月27日（日）今年も比木神社の「お里まわり」のお神輿が岩渕公民館にも巡って来ました。「なかなか神輿が巡ってこないなあ？」と心配していると、遠くから笛、太鼓が聞こえてきました！「お父さんもお神輿を担いでいるよ！」「肩が痛くないかなあ？」と出迎えの子ども達が話していると・・・遠くから太鼓、笛の音が聞こえてきました！このような取組は、子ども達が地域行事に関心をもち、いつかは自分達も地域に関わっていこうとする意欲・きっかけとなり、地域への愛着を深める大切な取組だと感じました。今年から高校生も参加され、比木神社を出発し、町内から高鍋町、高鍋町から町内へとお神輿が巡り、地域の無病息災、安寧への祈りが捧げられました。（岩渕自治公民館以外の自治公民館にもお神輿が巡航しました。）



公民館を拠点とした

子ども達による新たな取組！

11月16日（日）御池公民館で「コスモスウォークラリー」が開催されました。昨年は「コスモスパティー」として実施されたのですが、今年は木城町ジュニアリーダークラブ「JYONYAMA」と公民館が連携し、ジュニアリーダーが企画した「コスモスウォークラリー」となりました。ジュニアリーダーたちは、①ポスターによる広報準備②現地確認③ウォークラリーの問題作成などの活動を行い、当日を迎えました。

週末に天気がすぐれない状況が続いていたので実施を心配していましたが、何とか曇りになりました。早朝からジュニアリーダーたちは集合し、賞品の仕分けやコース設定、受付の準備などを進めていきました。御池地区だけではなく、他の地区からも参加していただき、楽しく充実したひとときとなりました。このような取組を通して、次代を担う子ども達が地域活動に参画することとなり、地域での自己存在感を高めとともに、地域貢献への思いを深めることにもつながると思います。ジュニアリーダーの皆さん、お疲れ様でした！



テレビやネットによく見聞きする「SDGs」ってなあに？（9）

今回からSDGsの17の目標について紹介します。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

輸送や灌漑、エネルギー、情報通信技術といったインフラへの投資は、多くの国で持続可能な開発を達成し、コミュニティのエンパワメントを図るうえで欠かせません。生産性と所得の向上や、健康・教育面での成果改善にインフラへの投資が必要なことは、以前から認識されています。

製造業は経済開発と雇用の重要な牽引役です。しかし現時点で、製造業の1人当たり付加価値は欧米の4,500米ドルに対し、後発開発途上国ではわずか100米ドルに止まっています。検討すべきもう一つの重要要因として、製造工程中の二酸化炭素排出が挙げられます。排出量は過去10年間に多くの国で減少しましたが、減少のペースは全世界で一様ではありません。

技術の進歩は、資源効率と省エネの向上をはじめとする環境目標の達成に向けた取り組みの基盤となります。技術とイノベーションがなければ、産業化は起こり得ず、産業化がなければ開発も実現しません。製造業の生産で大きな割合を占めるハイテク製品への投資を拡大し、効率を高めるとともに、人々のつながりを増やす移動・携帯通信サービスに注力する必要があります。

＜国際連合広報センター資料引用＞

